

いわき新時代へ

考察



内田 広之さん

子どもの姿勢を支援
ロールプレイング必要に

これからの時代に求められる、教育行政の在り方を考えてみたいと思います。

教育行政には、理想の教育を実現するための役割があります。理想の教育を実現するための前提として、これからの時代は、一つひとつの社会課題に対し、特定の決まった「解」が見いだしにくい時代、だということと言えるでしょう。

教育行政の在り方

スマホ・AI（人工知能）の出現などの技術革新が急速です。新型コロナウイルス、大規模豪雨災害、原子力災害、地球温暖化など、予測不可能な事

態が年々、発生しています。前月号では、決まった正解をドリルやテストでインプットするだけの教育は「時代遅れ」だと述べました。

その上で、学校でも家庭でも、教師や保護者は子どもが社会のうねりや難問と向き合っただけでなく、姿勢を支援することが重要だとも述べました。

親は、子供のあきらめない心、好きなこと、のめりこめることを助けつつ、仮に、子どもが失敗しても、親には、子どもがその失敗を乗り越え、次の成功につなげるため

のサポートが重要なのです。そのため、親は子どもに「傾聴」し、子どもとともに子どもの関心事項に共感することや、学校では教師が児童・生徒同士の相性や意見の数々を「つなげて」、知的好奇心や創造的な答えを「引き出す」ことが、大きな意味を持つ時代になってきているのです。

時代に合わせ変化

このように、親・教師に求められる役割が、時代に合わせ変化していることを踏まえ、教育行政には、何が求められているのでしょうか。

教育行政の役割として、特に意義深いのは、公民館やPTAが主催する親育てを目的とした勉強会や、教育センター等の研修機関が実施する教師への指導方法に関する研修の充実です。

これらの勉強会や研修会では、本番さながらのロールプレイングが必要になってきていると考えます。

全国でいろいろな勉強会や研修会を見ましたが、講師の講演とテキストがセットで知識を学ぶ勉強会等が、なお多いと実感します。

家庭教育で言えば、例えば、幼児は何歳でどのような行動特性があるから、親はどう対応すべきとか、学校教育で言えば、新しい学習指導要領では、ある学年で扱う学習範囲がどう変更になるので教えるポイントはどこだ、といった事実を伝えるものです。

こうした旧来型の勉強会等を改め、家庭教育であれば、親が上述の「傾聴」の方法を体験することや、学校教育であれば、教師があえて「失敗」からの学びを児童に学ぶことを促すロールプレイングが重要なのです。

十五年ほど前になりましたが、二〇〇六年度から二〇〇八年度まで秋田県教育庁に勤務する経験があります。

秋田県は、学力日本一で知



その時代時代によって、教育や指導方法は異なってくる。つまり、親も教育者も時代のそうした推移を見つめながら、子どもたちの教育・指導には気を配る必要がある=文とは関係ありません

られています。全国から秋田県内の学校への視察団が、なお年間千件近くあり、未だ絶えない状況が続いていると聞いています。

こうした秋田県内の各学校への直接の訪問でも、県外の教育関係者にすれば大きな知見を得ることができるのです。秋田県の教育庁が実施す

る数多くの研修も、目を見張るものがありました。

私が視察した研修でも、ロールプレイングを取り入れた活動を数多く推奨していました。

例えば、英語では、以下のような例文をロールプレイングで研修していました。

「I bought the book, which I

「つつかりぼく」

Have not read yet.」この英文を「その本を買いました。まだ、読んでいない本を」と間違えて訳した生徒に対して、どのように解説するかを研修でロールプレイングしていました。

正しい訳は、「私はその本を買いましたが、現時点でまだ読んでいません」です。

研修に参加する教師が、複数の生徒役と複数の教師役に分かれて、議論し合うのです。その場での具体的なやりとりの記載は、省かせて頂きますが、秋田県では教師の正解に対する認識と、生徒の誤訳に対する認識の「ずれ」をど

のように埋め合わせていくのかについて、分かりやすくロールプレイングする研修がありました。

英語以外のあらゆる教科でも行われていました。生徒の具体的な「つつかり」を「ぼく」が読みを支援する取り組みがこれからの教育行政には求められています。

ロールプレイング研修は、家庭教育や教科指導の問題だけではなく、生徒指導や学校経営、保護者対応など、様々な分野で事例があります。教育活動の身を濃くしていくために、親や教師の気づきを促す勉強会や研修会の開催が教育行政には求められてきているのです。

執筆者

うちだ・ひろゆき

いわき市出身。草野小・中、磐城高、東北大学教育学部卒、東京大学大学院修了。1996(平成8)年4月に文科省入省。文科省の教育改革推進室長、企画官、福島大学理事・事務局長などを経て、本年1月より、東日本国際大学・地域振興戦略研究所所長。48歳

【家族、趣味】

妻と高校2年の長男との3人家族。趣味は、妻とともに、市内の自然散歩。また、現在、剣道4段で、近々、5段にチャレンジ予定

いわき市中央台高久 中央台東小 左隣) ニュータウン 腎・内科クリニック 内科/人工透析 理事長 医学博士 高橋充生 日本腎臓学会 腎臓専門医 日本透析医学会 透析専門医 日本内科学会 内科専門医 人工透析 ●尿の量(8:40~)月~土曜日 ●尿の量(16:00~22:30)月・水・金曜日 いわき市中央台高久2丁目26-2 診療時間 ●午前(9:00~12:00)予約制 ●午後(14:00~17:30)月・火・水・金曜日 Tel.0246-46-0606 【一般外来】日・祝日 休診

酒井医院 内科・呼吸器科 診療時間 午前中の受け付けは11時30分 金曜 AM9:00~PM 7:00 平日 AM9:00~PM 6:00 土曜 AM9:00~PM12:00 休診日 日曜・祝日 いわき市平字南町12 TEL.23-1055